

【くりっピー】

## 盛大に行われた 提携25周年記念式典

姉妹都市提携25周年記念式典が2017年10月28日(土)午後2時から八千代市市民会館大ホールで盛大に行われました。参加者は669人。来賓として八千代市長・服部友則氏, 八千代市議会議長・成田忠志氏, 参議院議員・豊田俊郎氏らのご出席をいただき, また, ドン・ワレン団長以下21人のタイラー市親善訪問団の皆さんも壇上に上がり, 国歌斉唱から第2部の八千代少年少女合唱団と八千代高校「鼓組」の演奏まで, 熱心に聞き入っていました。(2ページから5ページに関連記事)

▼演奏会の終わりに長岡先生のご配慮により一緒に「小さな世界」を歌うタイラー市の方々





# ホームビジットや 日本文化体験は皆さんが大満足

姉妹都市タイラー市(米国・テキサス州)から親善訪問団21人が10月28日(土)から11月1日(水)まで八千代市を訪れました。既に日本へは25日(水)に成田へ到着しており、京都や東京観光、特に参議院議員の豊田俊郎氏のご協力により国会も見学しております。1992年に姉妹都市提携を結んだ交流は今年で25年目になり、タイラー市からの訪問は今回で9回目となります。それでは今回の姉妹都市交流をご紹介します。

## 1日目は表敬訪問、歓迎昼食会 午後は記念式典、ウエルカム・パーティー

イベントは、八千代市役所表敬訪問からスタート。この日は閉庁日でしたが、多くの職員の方々が日米の小旗を持って歓迎をしました。2階の会議室の前では八千代市長・服部友則氏がタイラーの皆さんのお出迎えをしました。服部・八千代市長のあいさつの後、タイラー市からは、ドン・ワレン団長があいさつを行いました。トニー・タダサ氏のタイラー市側のメンバー紹介では全て日本語で分かりやすかったため、八千代市側に笑いを誘い、和気あいあいの雰囲気の中で進められました。最後は市のマスコットである「やっち」とともに記念撮影をしました。

次は、八千代市主催の歓迎昼食会。実行委員は10人出席し、会場はローズガーデンでした。タイラー市の皆さんは、庭園などを散策された後、おいしいイタリア料理で満足されたようです。帰り際、売店でお土産を購入するなど、リラックスした雰囲気でした。

バスで次のイベント会場へ。2時からの市民会館大ホールでの記念式典まで時間があり、控え室で休息を取っていたところ、八千代高校「鼓組」の代表4人の女子高生がタイラー市親善訪問団の皆さんに「鼓組」と名前の入ったタオルをプレゼントしました。

式典は、八千代市国際交流協会が主催。八千代少年

少女合唱団による日米両国歌の演奏で幕を開け、小林会長のごあいさつに始まり、タイラー姉妹都市委員会前会長のグレン・バン・ダイク氏のごあいさつなどをいただきました。また、交流事業に貢献された6人の方々に記念の盾を贈りました。第2部は、八千代少年少女合唱団と八千代高校「鼓組」による歓迎の演奏を行いました。

夜は、協会主催による「ウエルカム・パーティー」。会場はウイシュトンホテル・ユーカーリで、服部友則・八千代市長及び成田忠志・八千代市議会議長をはじめ、衆議院議員・小林鷹之氏ら総勢82人が参加しました。2時間という時間はあっという間に過ぎてしまい、訪問団にとっては、ちょっと長い一日でしたが、満足できる一日になったようです。

## 2日目はホーム・ビジット 3日目は横浜へバス旅行

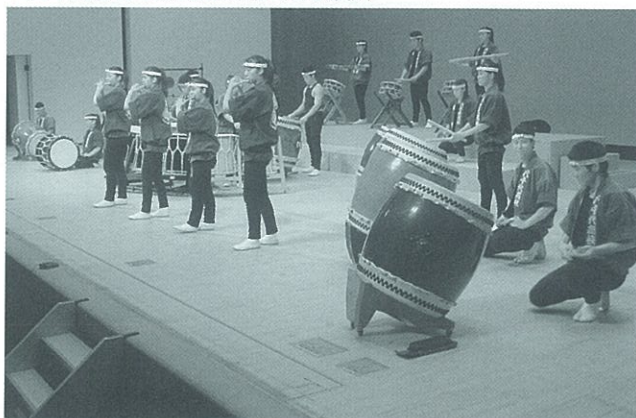
2日目は、ホーム・ビジットの日。市内の11家族にご協力をいただきました。小川家では雨天だったため最初の催し物からウエルカムコンサートに変更し、知り合いの2家族も加わり、日本や外国の歌などを歌い、特に息子のアレンさんのギター演奏は圧巻でした。父親のラスさんの独唱も素晴らしい歌声でした。ホームビジットでは皆さん大満足したようです。

3日目は台風が早朝に過ぎ去り晴れとなり、実行委

▼美しいメロデーで参加者を魅了した八千代少年少女合唱団



▼八千代高校「鼓組」の素晴らしい演奏



員18人を併せ計39人で横浜ベイエリアへ出発。計画では山下公園を散策し、海の雰囲気味わってほしいと思っておりましたが、風が強く、氷川丸を背景に記念撮影だけで終わりにしました。昼食は中華街で本番の中華料理を堪能。フォークも用意しましたが、タイラーの皆さんは箸を上手に使っていました。昼食後赤レンガ倉庫へ。元は倉庫だった建物がリニューアルされ、現在は個性的なショップやレストランなどになっています。大勢の観光客に交じり、ショッピングなどを楽しんでいました。

帰路のバスの車内では「かえるの合唱」の輪唱、「上を向いて歩こう」「テキサスの黄色いバラ」などの合唱と簡単な漢字の読み方などで楽しい時間を過ごしました。予定通り帰着でき、夕食会場の居酒屋へ。タイラーの人たちは刺身は駄目というので事前に焼き鳥に変更し、パーティーとは違うムードでかなり盛り上がり、飲み放題も手伝って満足のいく一日となりました。

#### 4日目は日本文化体験、さよならパーティー 5日目は石井食品見学後、成田空港から帰国

多くの市民の協力をいただき、八千代市ふれあいプラザで日本文化体験。参加者は大学の授業の一環で参加した東京成徳大学の学生を含む140人でした。伝統衣装着付け、茶道、書道、琴、尺八、南京玉すだれ、絵手紙、押し花、折り紙、ブローチ作成、天ぷら揚げの体験です。出来上がった作品を持って撮影したりして日本人でも日ごろは経験できない催し物で、両市民とも楽しんでおりました。

昼食は昼の上で、天ぷら、祭り寿司、八千代の梨など、豪華な和・洋食を学生と一緒に食べてもらいました。このイベントを地元のJ:COMが取材し、ニュースと八千代の情報番組で放送されました。協会のPRになり、入会者が増えればと期待しています。

訪問団最後の夜は、参加者92人が集まり、ハロウイ

## 受け入れを終えて

八千代市国際交流協会兼第9回タイラー市親善訪問団受入実行委員会  
会長兼委員長 小林 公孝



このたび、八千代市と米国タイラー市との姉妹都市提携25周年の記念すべき年にタイラー市からワレン団長を含む21人の友だちが10月28日八千代市到着、11月1日全員無事帰国されました。短い期間でしたが、多くの八千代市民との交流の場を持つことができたと思っております。ちなみに参加者は、記念式典669人、ウエルカムパーティー82人、日本文化体験140人、さよならパーティー92人の一般市民、市関係者、学校関係者、そして会員の方々に参加されました。皆様のご協力で訪問団の一行に対して温かいおもてなしを提供することができたと思っております。タイラー市とは、これからも文化交流、教育交流、経済交流を進めていきます。両市の交流がますます発展するよう願っております。

### ●日程表

10月28日(土)	八千代市表敬訪問／歓迎昼食会／25周年記念式典／ウエルカム・パーティー
10月29日(日)	ホーム・ビジット
10月30日(月)	横浜バス見学
10月31日(火)	日本文化体験(茶道・書道・尺八・琴・絵手紙・押し花・切り絵・伝統衣装着付け・日本料理など)／さよならパーティー
11月1日(水)	石井食品見学／成田空港

ンのムードの中、両市民がプレゼントの交換を行いました。「お神楽踊り」「安来節」で盛り上がった後、「炭鉾節」を踊り三三七拍子で締めとなりました。タイラー市民への協会からのお土産は、市民手作りの「人形」としました。

5日目は9時30分にホテルを出発し、市役所の計らいで石井食品を見学。成田空港へは1時ごろ到着し、お別れの際には、川嶋・総務企画部長があいさつを行いました。タイラー側より「皆様の訪問をお待ちしています」とのメッセージがあり、空港を後にしました。  
(国際姉妹都市部会／廣田敬治)

▼明日からの交流を楽しみにしているタイラーの皆さん。今回もこの集合写真がないと始まりません。



# 写真で見る 2017年姉妹 都市交流 八千代



▲表敬訪問を受けあいさつをする服部・八千代市長

▼八千代高校「鼓組」からプレゼントをもらい記念撮影



▲シティ・マネージャーと握手をする川嶋・総務企画部長



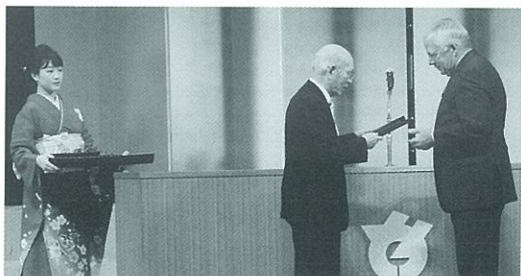
▲ローズガーデンでイタリア料理を前に記念撮影

▼両国の国歌を歌い式典は始まりました



▲ウエルカムパーティーでこちらのグループも意気投合

◀記念盾をいただき周郷名誉会長と握手をするトニー・タダサさん



▲周郷名誉会長から功績のあった人たちへ記念盾を贈呈



◀横浜中華街を散策しました

▼おいしい中華料理いただきました

▼ウエルカムパーティーで皆さん貴重な記念撮影を行いました





▲皆さん、初めてとは思えない腕前でした

▼素晴らしい指導で「琴」の音色が出ていました



▲タイラーの皆さん、三三七拍子に挑戦

さよならパーティーはこの写真で終わりです▶

▼ハロウィンと「お神楽踊り」が一体となり皆さん踊りました



▲十二単の着付けが終わりご夫婦で記念撮影



▲先生の指導でこんなにうまく書けました

ご主人は出来上がり▶後は奥様を待つだけ



▼やはり日本の味「お茶席」でした



▼さよならパーティーでまた会う日までに誓い記念撮影



## ■平成29年度予算 概要は次のとおり

八千代市国際交流協会の平成29年度予算が平成29年4月23日に行われた総会で決まりました。その概要は次のとおりです。

### ●収入 単位：円

科 目	金 額
1. 会費収入	400,000
2. 補助金	1,368,900
3. 繰越金	48,889
4. 雑収入	129,211
合 計	1,947,000

### ●支出

単位：円

科 目	金 額	摘 要		
1. 事業費 1,522,000	1. インターショナルデー 300,000	謝金	150,000	出演者・協力者謝金
		需要費	140,000	ポスター制作・事務用品など
		役務費	10,000	イベント告知など
	2. タイラー市訪問団受入事業 240,000	印刷製作費	205,000	タイラー市との交流25周年記念誌発行
		通信運搬費	25,000	
		交通費	10,000	
	3. 広報事業費 163,000	需要費	120,000	くりっピー印刷費・郵送代
		委託料	43,000	HP維持管理費
	4. 部会事業費 819,000	部会事業費	819,000	国際姉妹都市部会、日本語ボランティア部会、語学ボランティア部会、国際交流促進部会、タイラー親善訪問等推進業務
		2. 事務費 425,000	1. 事務費	55,000
	需要費		145,000	会議通知・資料送付・電話代等
	役務費		210,000	事務職員賃金・労災
	研修費		5,000	研修参加費補助
	負担金		10,000	千葉県国際コンベンションビューロー会費
	合 計	1,947,000		

## 日本語ボランティア活動説明会 市内での活動の歴史・現状を説明

今年から開催時期を2か月早め、2017年5月13日(土)午後1時半から八千代市多文化交流センターで日本語ボランティア活動説明会を開催しました。

当日は雨にもかかわらず、日本語ボランティア活動に関心を寄せている男女10人が参加しました。講師は例年のごとくベテランの美川克子先生で、長年にわたる活動経験から市内での活動の歴史・現状の説明に続き、活動する上での注意点などを話されました。説明会終了後は参加者がそれぞれ教室を回り既に5人が活動に入っています。

八千代市も日本語を学びたいという外国人(日本語を母語としないJSL)が毎年増えてきており、次第に共生社会の到来を迎えているため、ボランティアの確保と質の向上がますます重要となってきました。

なお、日本語ボランティア部会では、この説明会のみならず常時協会員・市民の活動参加を歓迎しています。(日本語ボランティア部会/江川典一)

### ▼参加者全員で記念撮影



## 第11回夏休み子ども日本語教室 今年は3か国の料理に挑戦

「第11回夏休み子ども日本語教室in八千代」が2017年8月25日(金)に行われました。八千代市多文化交流センターに集合し、村上中学校で活動しました。学校を開催場所とするのは、初の試みとなりました。約20名の子どもたちが参加、ボランティア、学生、警察署を含む大人約30名、総勢50名が参加しました。

今回は、3か国の料理を3グループに分かれて調理しました。講師は、AMIGO学習者の親と支援者の4人。ペルーは、パパラワンカイナとサラダ。ブラジルは、ストロガノフとレモンムース。フィリピンは、アドボとトゥロン。午前中に3か国6品目の調理です。低学年の児童は野菜を洗って皮むき、米とぎをしたり、高学年は野菜を洗ったり、包丁で切ったり、指導を受けながら普段ではできない体験をしました。

午後は3か国の食文化の学習をし、多文化交流センターでヨーヨーをして活動を終了しました。(日本語ボランティア部会/長谷川安記)

### ▼参加した子どもたちと一緒に記念撮影



## 第12回八千代インターナショナルデイ 秀明大学留学生が華麗な民族衣装で登場

第12回八千代インターナショナルデイが2017年9月9日(土)フルルガーデン八千代・噴水広場で開催されました。

八千代高校「鼓組」、カントリー等の常連出場チームのほかに、初参加の秀明大学留学生による華麗なファッションショーがあり、集まった多くの観客を魅了しました。今年の夏、関東大会8連覇を果たした八千代高校「鼓組」は、部員41人による若さにあふれ、迫力ある演技を披露しました。市内の大学町に住所がある秀明大学からベトナム、ネパールをはじめ6か国32人の留学生が民族衣装で参加し、日ごろの日本語学習の成果として自国の紹介を行いました。

会場では留学生と高校生の有意義な交歓場面が多くみられました。金森重恭さんとミッドナイト・カウボーイズは懐かしいカントリーの名曲を熱演、また、スタジオ・アルテ・フラメンコチームは華々しい踊りを披露しました。

八千代高校「鼓組」の生徒さんには、会場設営から運営までお手伝いいただき、また、東あられ本舗さんには今年も協賛をいただき本当にありがとうございました。(語学ボランティア部会/瀬下和正)

### ▼華麗なファッションショーを見せてくれた秀明大学留学生



## ハロウィンパーティー2017 10月28日(土)に開催

恒例のハロウィンパーティーが2017年10月28日(土)ユエルム八千代台店4階グリーンランドで、ユアエルム八千代台店の協賛を得て開催しました。

白雪姫、スパイダーマン、モンスターズ、ピカチュウなど思い思いの仮装をして81人の子どもたちとその家族が集合しました。念願の外国人ファミリーの参加が実現。ペルー、ブラジル、フィリピンの3か国、5ファミリーが参加しました。

子どもたちは、世界で一つしかない風船モンスターを作り、ユアエルム店内をパレードしてお菓子をもらう「Trick or Treat!」、じゃんけんゲームなどをして、「Happy Halloween」の楽しいひとときを過ごすことができました。

開催にあたり、アミーゴ・長谷川さん、オーエンス八千代ギャラリーのスタッフ、秀明大学学生の皆さんのご協力を得て実施いたしました。(国際交流促進部会/鈴木康彦)

▼初めて3か国の外国ファミリーが参加したハロウィーン



## やちよ市民活動フェスティバル2017 11月12日(日)に開催

今年のフェスティバルは、八千代市制50周年記念であり、米国テキサス州タイラー市との姉妹都市提携25周年となる記念する年であることから、タイラー市の紹介と多文化共生の活動を展示、PRしました。開催日は11月12日(日)。

【タイラー市親善訪問団が八千代市に】

10月28日から11月1日までタイラー市親善訪問団が八千代市に滞在した様子を写真で披露しました。歓迎式典、横浜観光、日本文化の体験、パーティー等による「おもてなし」を楽しんでいた様子を写真で披露しました。

【インターナショナルデイ】

秀明大学留学生の民族衣装によるファッションショー等と八千代高校「鼓組」の演奏など国際色豊かな

インターナショナルデイの様子を写真で紹介しました。

【ハロウィンパーティー2017】

恒例のハロウィンパーティー2017では、初めて在住外国人3か国5ファミリーに参加いただきました。また、ユアエルム八千代台店との協賛により、思い思いに仮装した子どもたちが店内をパレードし、「トリック・オア・トリート」を楽しむなど、81人の子どもたちとその家族が楽しんだ写真を展示しました。

【多文化共生】

八千代市内で「多文化共生」の意識を高めていただければとの思いから、市内に在住する66か国、4,000人の母国を紹介する世界地図を展示しました。

フェスティバルには4,000人を超える来場者がありました。八千代市国際交流協会を知っていただき、理解していただき、多文化共生を推進する仲間づくりができるのではと期待しています。(国際交流促進部会/鈴木康彦)

▼タイラー市との姉妹都市交流などを写真にしてPR



## 第11回八千代市日本語スピーチ大会 11月23日(祝)に開催

2017年11月23日(祝・木)八千代市八千代台東南公共センターにおいて、第11回八千代市日本語スピーチ大会が開催されました。

今年のスピーチ登壇者は入門から初級の8人でした。ペルー、フィリピン、ギニア、アフガニスタンの方々による母国の歴史、文化、観光、祭りなどのスピーチはバラエティーにあふれ、興味深く素晴らしいものでした。中には、民族衣装を着た挑戦者もあり、皆さんやる気は満々のようでした。服部友則市長も応援に駆けつけてくださり、スピーチ登壇者と写真を撮るなど皆さん勇気付けられたようでした。

懇親会では、バンブーダンス、ギニアの民族音楽、じゃんけんゲームなど日本人外国人約50人が一体となって楽しい時間を過ごすことができました。最優秀の会長賞には、子育てに奮闘中で、介護の仕事に頑張っているギニア出身のラマタ・コンデさんが受賞されま

した。おめでとうございます。

来年度も実施の予定ですので、是非、皆様のご参加を心よりお待ちしております。(日本語ボランティア部会/鎌田多美子)

▼服部・八千代市長をまじえ記念撮影



### 英語で聴く講演会 2017年11月25日(土)市民会館で開催

第10回英語で聴く講演会は、2017年11月25日(土)午後2時から八千代市市民会館第3会議室で語学ボランティア部会により開催されました。講師はタイラー市出身の外国語指導助手(A L T)シャティカ・クラークさん。「ブラック・カルチャー 黒人の文化」がテーマで、70人もの市民が1時間余りじっくり耳を傾けました。服部市長さんの参加もあり、姉妹都市交流25周年の節目の年らしさを感じました。日本人にとっては、知らないことが山盛りの話だったという感想をいただきました。参加のアメリカ人も内容の3割は初めてだったそうです。黒人の歴史から音楽、皮膚の色、髪の毛の種類とその手入れ、編み方、そして食物と多岐にわたり、日ごろ、疑問に思いつつも実はそれ以上知る機会のないまま過ぎていた数々の疑問に答えをもらい新鮮そのものでした。講師の淀みない英語を聞き漏らすまいと耳を澄ませ、パワーポイントで視覚に訴え、音楽を聴き、講師が焼いたコーンブレッドを試食するという五感をフル回転させた体験型の時間でした。Q & Aでは英語、日本語で活発にやり取りが行われました。(語学ボランティア部会/柴田ひさ)

▼分かりやすい英語で興味深い内容でした



## 平成29年度篤行者表彰 高野多美子氏が受賞



高野さんは、2000年5月23日から日本語指導ボランティアの会員として、2006年からは八千代市国際交流協会会員として、日本語指導ボランティアとして携わりました。これまで、2003年4月1日、日本語指導ボランティア村上火曜会の代表に就任し、在日外国人に対して日本語の指導を行いました。現在も活動しています。また、2016年、八千代市国際交流協会理事に就任し、現在も同職にあります。

## 会員募集中

八千代市国際交流協会では会員を募集中です。詳しくは事務局(TEL.047-752-0593)へお問い合わせください。年会費は個人2,000円、家族3,000円、学生1,000円、団体会員10,000円となっています。また、新しい情報はホームページをご覧ください。メールは次のとおりです。《[yia2006@world.zaq.jp](mailto:yia2006@world.zaq.jp)》

八千代市国際交流協会

検索

## 編集後記

11月1日(水)午後3時、タイラーの人たちは無事帰途につきました。ほっとしたのは、私だけではなくたのではないのでしょうか。実行委員は32人にのぼり、実行委員会の開催は16回を数え、皆さん意見の違いはありましたが、充分なおもてなしができたのではないかと考えております。これから30周年記念、35周年記念と姉妹都市が続く限りこれは続いていく訳ですが、少なくとも今回実行委員としてお手伝いした人の中で、何人の方が次回お手伝いできるかです。それには、この協会、特に国際姉妹都市部会の若返りを図らなければなりません。それには「どうしたら？」の5文字がつかってきます。タイラーとの交流は2年に一度くらい。普段からのPRは必要で、機会があるたびごとに姉妹都市という言葉若い人たちに知ってもらいたいと思います。小学生、中学生にも。そして受け入れのときは、若い人たちにも一緒に参加してもらい、こういう積み重ねが必要だと思っています。私たちの協会の事業は全てがボランティア活動です。来年度の予算編成が始まっています。40億円が不足？しているという話を聞いています。私たちがボランティア活動を進めていくためには、市と私たちボランティアが一緒になってやらなくてはならないと思います。活動費はもう少しあればいいのですが…。(三橋伸一郎)